

平成 22 年 5 月 20 日現在

研究種目：若手研究 (B)
 研究期間：2007 ~ 2010
 課題番号：19720064
 研究課題名 (和文) 博物誌から国家誌へ：18 世紀末から 19 世紀のアメリカにおける歴史記述
 研究課題名 (英文) Natural History Turned National History: A Study of Late-18th- to Mid-19th-Century American Historiography

研究代表者

山口 善成 (YAMAGUCHI YOSHINARI)
 高知女子大学・文化学部・准教授
 研究者番号：60364139

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ語系文学

キーワード：英米文学、文学一般、アメリカ史、歴史記述、博物誌

1. 研究計画の概要

本研究は 18 世紀末から 19 世紀のアメリカに登場した歴史家たち (とりわけ Jeremy Belknap, Jared Sparks, Francis Parkman) の著作を取り上げ、独立後間もないアメリカ合衆国がどのようにして自らの歴史を定義し創造するようになったかを分析するものである。具体的には上述の歴史家たちの著作を「土地の文学 ("the literature of the place")」という独立当時広く流通した博物誌のジャンルに関連づけ、これによって彼らの歴史に見られる非時間的・空間的な性質をあぶり出す。本研究の目的は、アメリカ歴史学黎明期のテキストに博物誌 (ナチュラル・ヒストリー) から国家史 (ナショナル・ヒストリー) へと枠組みが移行する契機を認め、非時間的・空間的な存在としてのアメリカが国家として時間化・歴史化される過程を例証することである。

2. 研究の進捗状況

研究課題である独立直後から 19 世紀半ばのアメリカにおける国家史の形成について、これまで大きく分けて 3 つのポイントを指摘することができた。

(1) 空間認識との関連性

アメリカの歴史は「土地」と非常に強い結びつきを持っている。これはアメリカの発展が主として荒野の探検や領土獲得といった地誌的な活動によって果たされたことによる影響が大きく、とりわけ 18 世紀末から 19 世紀初頭出版された歴史書においては、歴史と地誌は互いに交換可能でさえあるかのように扱われている。また Crèvecoeur や

Tocqueville 等の最初期のアメリカ論では、アメリカには常に「巨大さ」のイメージが付きまとい、その巨大さを一挙にとらえるパノラミックな視点こそがアメリカ的なものの見方とされる。Francis Parkman の歴史記述はその一例と言えるだろう。

(2) 「個」の扱い

パノラミックな視点と矛盾したかたちでアメリカ歴史記述を特徴付けているのが、個々の史料に対するこだわりである。ピューリタンの予型論の歴史にとって史料はあらかじめ規定された聖なる物語を確証づけるものでしかなかったが、18 世紀末以降の歴史家たちはそれを新たな一般化の可能性をひめた「証拠」として見なすようになる。そして、ここで浮き上がってくるのが、個々の史料の特殊性と典型性の問題である。これはとりわけ個の自由を旗印に建設されたアメリカ社会そのものに密接な関係を持つ問題だった。

(3) 歴史家たちのネットワーク

18 世紀末、新旧両大陸での革命を経て、それまで公にされてこなかった文書が次々と明るみに出てくるようになる。当時の歴史家たちがまず着手したのはそれらの史料の収集だった。個人レベルでの収集も驚嘆に値するが、それよりもさらに興味深いのは彼らが互いに史料を共有するネットワークである。そのネットワークにより、彼らは歴史を学問として確立させ、また国家結末のモデルを提供していた。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。
 (理由)

定期的に学会発表をする機会が得られたため、それが研究を進めるうえでの良いペースメーカーとなった。研究はほぼ予定どおりに進んでいる。

4. 今後の研究の推進方策

平成22年度は研究計画の最終年度として、本年度はこれまでの成果を総まとめする。18世紀末から19世紀にかけてのアメリカ歴史記述ジャンルは新国家にふさわしい新しい歴史の創造を目指す中で、さまざまな周辺ジャンルとの連携を試みてきた。とりわけ自然科学分野への傾倒は顕著に見られ、やがては20世紀初頭、Henry Adamsによる熱力学第2法則を援用した歴史の数式化に至る。本年度はまずAdamsの歴史思想に関する議論を本研究課題の結論として整頓する(6月の中四国アメリカ文学会で発表予定)。

これまでにアメリカ歴史記述における「空間認識」について論考を重ねてきたが、その総括としてFrancis Parkmanのパノラミックな視点に時間が「深さ」として表現されていることを指摘する。とりわけParkmanの歴史と当時の地質学との関連性から議論を組み立てる予定である(10月の日本アメリカ文学会で発表予定)。

さらに平行して18世紀末から19世紀にかけての歴史家、およびその他隣接する分野の学者たちとのネットワークについてもまとめておかなければならない。つまり、彼らが度々口にする“republic of letters”のネットワークである。そこでは現代に見られるような学問の専門化・細分化以前の知的交流と学識の共有が実践されていた。本研究課題全体の見取り図を提供するような概説的議論を予定している。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

- ① Yoshinari Yamaguchi, “Toward the Impersonality of History: Science and Inductive Reasoning in 19th-Century American Historiography” 『高知女子大学文化論叢』12 (2010): 61-72. [査読の有無: 有]
- ② Yoshinari Yamaguchi, “The Elasticity of the Individual: Early American Historiography and Emerson’s Philosophy of History” *Seijo English Monographs* 42 (2010): 233-255. [査読の有無: 無]
- ③ 山口善成 「大雑把さと些末さのあいだ

——『アメリカの農夫の手紙』におけるアメリカ性の矛盾／矛盾のアメリカ性』『高知女子大学文化論叢』11 (2009): 33-45 [査読の有無: 有]

- ④ Yoshinari Yamaguchi, “The Panoramic Point of View and Visual Training for Americans: “Bird’s-Eye View” Stories of Two Travelers” *Review of American Literature* 21 (2009): 1-25 [査読の有無: 無]
- ⑤ Yoshinari Yamaguchi, “American Geographico-History: Visibility and Timelessness of Emma Willard’s Progressive Maps and History in Perspective” *Review of American Literature* 20 (2007): 46-69 [査読の有無: 無]

[学会発表] (計6件)

- ① 山口善成 「隠喩としてのパノラマ」筑波大学プレ戦略イニシアティブ「知識のコズモロジー、あるいは『わかる』とはどういうことか—『デザイン』の多義性を中心として」ワークショップ (2010年3月21日、つくばセミナーハウス)
- ② Yoshinari Yamaguchi, “A Touristic Point of View and Visual Training for Americans: ‘Bird’s-eye-view’ Stories of Two Tourists” Department of British and American Cultural Studies Special Conference, Chukyo University (Chukyo University, December 20, 2008)
- ③ 山口善成 「自然誌から国家史へ——Jeremy Belknap, *The Foresters* における『歴史』の生成」日本アメリカ文学会全国大会 (2008年10月11日、西南学院大学)
- ④ 山口善成 「アメリカのとらえ方——歴史とパノラマとパリンプセスト」筑波大学アメリカ文学会 (2008年4月5日、筑波大学大塚キャンパス)
- ⑤ 山口善成 「レッドバーンのガイドブック: 19世紀アメリカにおける旅と自己形成」中・四国アメリカ文学会 (2007年12月8日、広島女学院大学)

[図書] (計1件)

- ① 鷲津浩子・宮本陽一郎編『知の版図—知識の枠組みと英米文学—』(悠書館、2007年): 77-103.

[産業財産権]

○出願状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕